



「もう少し高くして!」

笑顔一杯、姉妹学級でのりんごの収穫です。本校では、20年前からアップルキッズの森集会和題して、地域の方に支えていただきながら学校りんご園の活動を行っています。(龍江小学校)



信濃教育会教育研究所研修員募集… 2～3

教育研究所研究発表会を終えて… 4

令和3年度全県研究大会のご案内・申し込みについて… 5～8

掲示板… 9

リレー通信 わたし自慢²⁴ 心に届く音楽 菅島果歩 (大町市立第一中学校)… 9

100年館の絵 岩原 学 (春富中学校)… 10

会員ひろば (島内小学校)… 10

9月の研修ガイド

6日(月) ●人権教育講演会 ◎上伊那教育会館講堂 ◇「やっぱり人権教育は必要です～副読本

『あけぼの』にふれて～」清水稔 (長野県同和教育推進協議会 事務局長)

☆上伊那教育会 0265-72-3416

※新型コロナウイルスの感染状況によっては中止となる場合があります

●名称 ◎会場 ◇演題・講師等 (講師名敬称略) ☆連絡先

今こそ新たな歩みに挑戦しませんか



信濃教育会

教育研究所で！



教育研究所での三つの学び

新しい教育の実践者・研究者に学ぶ

☞ 各自のテーマに応じた先進校・実践校視察研修, 大学での研修, 公開研究会等への参加

実践の「振り返り」と同僚との「学び合い」

☞ 授業記録を通した自分の実践との向き合い, 省察を深め見識を広げる所長・特任所員講義

学校では経験できない学びの経験を積む

☞ 幅広い見識と人とのつながりを築く 土曜公開講座の企画運営, 学校外の人との交流

『テーマ研』を通して【教育】について考え,

『研究発表会』で研究成果を報告する



← 研究所へ入所した研修員は, 研究会で相互に学び合い, 自己の課題を明確にし, 研究を焦点化していきます。



現場に戻った2年目でも, 毎月1回のペースで自分の授業実践事例をもち寄り, 共同で検討し合い自分の実践課題を掘り下げます。



← 3年次研修員のこれまでの研究をまとめ, 研究発表会で県内教員等の参加者に成果を報告します。各会場で幅広く研究の成果を発表することで現場への還元を図ります。

第1テーマ

教師と子ども, 子ども相互の関係づくり

▼学級づくりの基本は, 子どもの個性を生かし, とともに生き, とともに学び合う共同性を育てることであり, 教師と子ども, 子ども相互の学び合いの関係づくりと不可分である。新たな実践を拓く支援について事例に即して考える。



第2テーマ

子どもの学びが深まる授業づくり

▼授業づくりを軸とする学校づくりは不易の課題である。子どもはどのように学ぶ意欲を高め, 友と学びを深めていくかを, 子どもの具体的な姿や教師の指導をもとに考える。



第3テーマ

今日的な課題に対応する多様な学び

▼子どもを取り巻く環境は日々変化し, 学校もそれら今日的課題への主体的な対応が不可欠になっている。地域・学校の特色や社会の変化に応じた多様で豊かな学びをどのように創り出していくか考える。



一流のスタッフと共に【教育】を学び深める

新たなことに挑戦するマインドと行動力を育成する為、先進校・実践校視察、特任所員への随行研修、公開研究会へ参加し、【教育】を学んでいきます。



所長
佐伯 胖氏
東京大学・青山学院
大学名誉教授



特任所員
松本健一氏
福井大学
理事・副学長



特任所員
岩川直樹氏
埼玉大学教授



特任所員
奈須正裕氏
上智大学教授



特任所員
高柳充利氏
信州大学准教授

土曜公開講座

「土曜公開講座」を開催し、広く全ての学校現場の先生方を対象として、講話や参加者の授業実践等を通して学び合うとともに、教育研究所と学校現場との交流を深めます。

研修員の声



ヤギが生き生きと草を食べたり、走ったり、鳴いたり、うんちをしたりして、のびのびと暮らせることを願いつづけてA児は「こびと」になって活動していたのだと、研究所での振り返りと学び合いを通して、私は感じられました。A児は自分のしたいことを実現しようとしていました。私は振り返りを通して、改めてそのことに驚きました。

道徳の授業で「テレビ番組のヒーローは、悪役を叩いていいのか」について考え合っていたときでした。私はB児の発言の意図を深く考えようとはしていませんでした。しかし、研究所での振り返りと学び合いを通して、B児が「一律にだめだということではなく、時と場合によってはいいということがあるはずだ。僕はそれについて話し合いたいんだ」と必死に訴えていたと感ずることができました。



私は、気がついたことすべてに対し、その場で声をかけ注意しましたが、C生にどう接したらよいか頭を抱えていました。研究所での振り返りと学び合いを通して、私は当時も感じていたはずのC生の魅力的な姿に、改めて新鮮味を感じ、C生自身に興味を抱くようになりました。C生の挑発が、どこか私に対してかわりを求めてきている姿のように感じ始めました。

私は、C生へ注意を繰り返す中にも、いつのまにかC生の反応を楽しんでいた私自身がいたことに気がつきました。

詳しい内容について知りたい方は
信濃教育会 HP を今すぐチェック



「子どもが感じている世界に共に入り込む」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催地区数や参加者数を縮小して教育研究所研究発表会を開催しました。若い先生からベテランの先生まで幅広く参加いただき、お互いの実践を踏まえながら熱心な討議が行われました。「振り返り」と「学び合い」を通して、共に学び高め合う発表会となりました。ありがとうございました。

本年度の研究発表会

中南信地区：7月10日(土) 信濃教育会生涯学習センター

東北信地区：7月22日(木) 信濃教育会館

参加者の声：分科会アンケートから

- 子どもをよく理解していると考えていた先生が、子どもとかかわっていく中で子どもの考えを知りたいと思うようになり、一緒に追究していく姿がとても素敵だと感じました。教えるのではなく、共に学んでいく。私もそういう教師でありたいと感じました。

(初任者研修参加者)

- 子どもの心の声を聞き、その声に応えるために自分に何ができるか考え、実践し、振り返る、この繰り返りで教師自身が変えることができますと思います。教師が変わると子どもも変わってくる。その時を信じて、子どもと向かい合うことの大切さに改めて気づかされました。

(キャリアアップ研修参加者)



研究発表会を終えて（73期研修員）

- 「子どもの思いによりそうとは？」について話し合う中で、ある先生から「先生の意識が教えるということにあると、思いが子どもにいかない。思いのもち方で、問いかけが変わってくるのがわかった。」とご意見をいただきました。私もこの研修を通して感じてきたことだったので、とても共感しました。また、「本時のねらいまでいきたいというときに、子どもの思いに目を向けることが難しい」というご意見もいただきました。まさに私が日々の授業で迷っていることでした。先生方と子どもの思いについて話し合う中で、これからも先生方や子どもたちと共に学んでいきたいと感じました。ありがとうございました。



お知らせ

各会場の開会式における佐伯所長挨拶の内容および研究紀要巻頭言を「信濃教育会ホームページ」（信濃教育会教育研究所）に掲載（アップ）しました。お読みいただき、ご活用ください。 <https://shinkyō.or.jp>

特集 全県研究大会

大会テーマ：心豊かに自らの生活を切りひらく力の育成 ～子どもの学びを深める授業の創造～

みなさんに 今年度の全県研究大会の特徴をお伝えします！！

令和3年度 全県研究大会 ー注目ポイントー

ポイント1 「わたしの自己課題」の解決に向けた研究です

「わたし（授業者）」がどのような悩みや願いをもち、試行錯誤を繰り返しながら見えてきた「わたしの自己課題」を解決していく、その道筋（プロセス）を大切にしたい研究です。参加者は、「わたし（授業者）」の自己課題」を自分のそれとを重ねながら語りあうことで、自らの子ども観や授業観を見返すことができます。

ポイント2 「わたしの一步一步」が研究の真ん中にきます

研究の道筋（プロセス）は、従来の学習指導案に替わって「わたしの一步一步」という形で提示されます。また、これまでのような一時間の授業公開という形をとらず、プロセスをまとめたVTRやパワーポイントを視聴するという公開の形をとります。それを受けて、提案された討議の柱を基に、小グループや全体での学び合いの場をもちます。

全県研究大会は初任者研修・キャリアアップ研修の対象になります。

申込方法

■小学校・中学校・特別支援・義務教育学校の方

自都市担当の【全県研究大会運営研究調査委員】へご提出ください。

■高校・大学・一般の方等

信濃教育会研究調査部へお送りください。（郵送またはFAX）

〒380-0846 長野県長野市旭町 1098 TEL 026-232-2258 FAX 026-232-7132

【全県研究大会運営研究調査委員】

佐 久	佐藤 元昭（浅科中学校）	北 安 曇	三 輪 千子（松川中学校）
小 泉 上 田	上 野 勝 裕（北小学校）	更 埴	宮 原 明 人（戸倉小学校）
諏 訪	小口 貴一郎（川岸小学校）	上 高 井	岡 田 憲 和（高山小学校）
上 伊 那	竹 松 寿 寛（赤穂中学校）	中野・下高井	嶋 田 勝 彦（野沢温泉中学校）
下 伊 那	野 神 和 之（大鹿小学校）	飯 水	三 井 康 幸（秋津小学校）
木 曽	倉 澤 啓（三岳小学校）	長野上水内	櫻 井 清 志（城東小学校）
東筑摩塩尻	黒 田 敏 樹（朝日小学校）	松 本 市	宮 澤 陽 子（会田中学校）
安 曇 野 市	濱 野 久（穂高西中学校）		

当日のおよその日程

会場校により多少の変更があります。

- 12：50 受 付
- 13：30 開会式
- 13：45 研究討議
* VTR による研究討議
* 途中休憩あり
- 15：55 指導者からのご指導
- 16：15 閉会式
- 16：30 閉 会

申込期限

9月30日（木）

■ 8 ページの参加申込書をお使いください。

■ 詳細は学校配布のポスターまたは信濃教育会ホームページをご覧ください。

11月9日（火）

〔東北信B〕 中野・下高井



東小学校 ＊ 外国語活動 4年

授業者 **宮尾 匠** さん

子どもたちが外国語により慣れ親しむために、子ども同士をつなげる教師の居方はどうあったらよいか考えたい。



高社小学校 ＊ 社会 6年

授業者 **藤巻 祐輝** さん

ICTを活用し、子どもと材、子どもと子どもの対話が促進され、自己更新していく授業を目指したい。



豊田中学校 ＊ 数学 3年

授業者 **金子 智** さん

「生徒が生徒を支援する」ことで、生徒一人ひとりの追究が深まる授業を目指したい。

11月11日（木）

〔中 信〕 安曇野市



穂高南小学校 ＊ 体育 1年

授業者 **内川 舜也** さん

入門期の子どもたちが自ら運動に夢中になって取り組み、運動の楽しさを実感できるための教師の支援について考えたい。



豊科東小学校 ＊ 生活 1年

授業者 **柳澤 由香** さん

子どもの思いや願いに寄り添いながら、気づきを次の願いにつなげるために教師は何ができるのか考えたい。



穂高西中学校 * 技術・家庭科（技術） 1年

授業者 **才田 亘** さん

生徒たちの主体性を高めるとともに、対話的で深い学びを実現するための ICT 機器活用のあり方を見い出していきたい。

11月16日（火）

〔南 信〕 下 伊 那



上郷小学校 * 理科 4年

授業者 **重盛 美聡** さん

受け身だった子どもたちが、自ら学ぼうとし「理科って楽しい」と感じる授業を目指したい。



上村小学校 * 総合的な学習の時間 3～6年

授業者 **清水あい香** さん

子どもの思いや願いに寄り添いながら、子どもが主体的に課題を探究できる授業を目指したい。



松川中学校 * 英語 2年

授業者 **岡田 直也** さん

自力で英語を読み解き、発信につなげることができる教科書の長文指導の在り方を追究していきたい。



鼎中学校 * 道徳 3年

授業者 **矢嶋 俊樹** さん

①～③を自己課題として取り組みたい。

①生徒一人ひとりが自分の考えに自信を持つ②生徒の意見を共有するための適切な手立て③議論を活発化させるための意見の掘り下げ



戸倉小学校 ＊ 特別活動 3年

授業者 **塚田 雄祐** さん

子どもがもつそれぞれの意見をもとに、全員が納得して活動に向かうための合意形成のはかり方について考えていきたい。



五加小学校 ＊ 国語 6年

授業者 **嶋田まゆみ** さん

自分の考えを広げたり深めたりするために「友との関わり」を大切にしたい。国語授業を子どもと一緒に楽しみたい。



戸倉上山田中学校 ＊ 総合的な学習の時間 3年

授業者 **熊谷 修一** さん

生徒の思いや願いを理解し、生徒がそれらを生き生きと語れるような授業のあり方を考えたい。

※5ページを参照してお申込ください。

キ リ ト リ

令和3年度 全県研究大会参加申込書

令和3年 月 日

学校名： (所属教育会名：) 校長名：

参加者氏名	参加会場校（教科等）	指定研修（該当する方は○）	備 考
	学校（ ）	初任者研修 ・ キャリアアップ研修	
	学校（ ）	初任者研修 ・ キャリアアップ研修	
	学校（ ）	初任者研修 ・ キャリアアップ研修	

〔ご案内〕・申込書は、信濃教育会ホームページにも掲載されています。

〔お願い〕・初任者研修、キャリアアップ研修に該当する方は、指定研修の欄の該当するところに○をしてください。

・一般の方は、備考欄に住所および電話番号（連絡先）をご記入ください。

〔個人情報の取り扱いについて〕 本申込書に記載される個人情報は『公益社団法人信濃教育会個人情報管理規程・個人情報保護に関する方針』に基づき、信濃教育会全県研究大会の運営のために使用するものであり、その他の使用は一切ありません。

掲 示 板

本年度の会報新春対談が

鉄拳さん に決定しました！

こんなことを聞いてほしい、こんなテーマで語ってほしいなど、ご要望がありましたら、ぜひ kaihou@shinkyo.or.jp までお寄せください。(9月17日(金)メ切)できる限り反映させたいと思います。1月号をどうぞお楽しみに！！

令和3年度 子ども絵画企画展

「輝く～人・もの・風景～」

開催終了

ご来場ありがとうございました。
参観者の方の声などは信濃教育会ホームページをご覧ください。

第135回信濃教育会総集会下伊那大会 オンデマンド公開終了

8月末をもって公開期間が終了しました。
閲覧ありがとうございました。
総集会の内容は雑誌『信濃教育』10月号にも掲載予定です。



わたし自慢 ②4

心に届く音楽

大町市立第一中学校 菅島 果歩



私は中学校からトランペットの演奏を続けています。私がトランペットを演奏していてうれしいと感じる時は、あまり音楽に触れてこなかった人が私が演奏した生の音楽に触れ、感動している様子や心から楽しんでいる様子を見ることができた瞬間です。

私は大学生のときに金管5重奏の楽団を組み、福祉施設や幼稚園などで演奏活動をしていました。コンサートホールや劇場に足を運ぶことがあまりできないお年寄りや、園児の皆さんに生演奏を届けることにとてもやりがいを感じていました。演奏中に見えるお客さんの表情、演奏に合わせて歌ってくださっている姿、生の演奏に触れて感動して涙を流してくれている姿に私自身が心を動かされました。

教員になって、私自身が生演奏で届けたときに感じた気持ちを生徒に感じてほしいと思っています。音楽の授業や文化祭での合唱、吹奏楽部の演奏など

で、生徒が奏でた音楽が聴いている人の心に届き、さらに心を動かす経験を味わわせたいと思います。そのために、私自身がこれからも音楽に対する熱い気持ちを持ち続けること、そして学んできた音楽を生徒に届けることを大切にしていきたいです。



予告



信濃教育
9月号
テーマ
資質・能力を育む学びづくり

彼の表現との出会いは、美術部での活動中でした。ふと制作を覗くと彼はコピックでマンガのキャラクターを描いている所でした。驚いたのは、その作品の完成度の高さでした。そんな作品を涼しい顔をしてさつと描いている彼をよく見かけました。

この作品は、『思いの込められた場所』という題材で授業の中で描いたものです。彼が選んだのは、毎日通る生徒玄関前の廊下でした。普段何気なく見過ごす風景を見事に造形的な表現に変化させていました。描き始めると、正確で素早いデッサン力で迷いなく表現を進めました。着彩も明暗の差や彩度のバランスなどアドバイスを必要とすることなく一気に描き上げていました。そんな彼の力は、文化祭でも発揮され、ステージバックのデザインを担当し、彼の原画をもとに緑豊かな大樹が表現され、文化祭を盛り上げていました。

指導者
岩原 学（春富中学校）

100年館の絵

令和2年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵



「ろうか」

降旗 一吹（春富中3年）

信濃教育博物館所蔵

会 員 ひ ろ ば

ヤギさん、待っています！

島内小学校では、2年生が地域の牧場からヤギを借りて世話をしています。昨年度は、コロナの影響でできませんでしたが、今年度は、2学期から2頭のヤギが来る予定です。

「草、おいしそうに食べているね」

「背中を、ブラシでかけるといいんだね」

「お散歩、連れていけるかな」

「ヤギさんと仲良くなりたいな」



一昨年の2年生の活動写真を見ながら、今、子どもたちは、ヤギとの出会いに胸を膨らませています。私も島内小学校に赴任して、2年前に初めてヤギとかかわりました。子どもたちのドキドキ感やワクワク感が、すごく伝わってきます。再び、2年生の子どもたちと、ヤギの世話ができることに感謝し、多くの感動と一緒に味わっていきたいと思っています。

（島内小学校 清野寛代）

教職員川柳

湧きに沸く ゴールドラッシュ 東京五輪（青クリリン）
スケボーで 大金星は 十三歳（青クリリン）
張り切って 準備運動 怪我をする（黒柳 弥津子）
「出ておいで」 隙間のごみに 話す子らよ（黒柳 弥津子）
職員室 今日にもぎわう 夜八時（黒柳 弥津子）
（藤原定時）

ご応募お待ちしております。

投稿はメールでお願いいたします。kaihou@shinkyo.or.jp

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。

